

幼児生活発表会アンケートより(抜粋)

◆年少児クラス 12/9(土)開催

- 子ども達と先生方の頑張りが伝わってきて、楽しかったですし、子どもに寄り添った対応を臨機応変にされていたことを有難く感じました。
- 初めての発表会ですし、たくさんの方が観ている中、どの子ども頑張っているのが伝わってきました！中でも担任の先生とのやり取りも交えながら、いつもこんな感じなんだという日常感もあって、観ていてほっこりしました。

◆年中児クラス

- 子ども達の「自分でやりたい！」と選んだことや皆で創り上げた楽しさや嬉しさ、達成感などが伝わってくる素敵な発表会でした。皆一所懸命な姿がかわいく、昨年より成長している姿も見られ感動しました。
- 発表会が近づくにつれ「ドキドキしてきた。」「一生懸命やって失敗するのはかっこいいよね。」など一年前の年少の頃には見られなかった感情や考えを伝えてきてくれて、発表会を通していろいろな感情の「芽生え」を感じることができるとともに、「集団で一つのことをやり遂げる。」「人前で発表する。」を通して多くのことを感じ、考え、楽しんでいることがよく分かりました。

◆年長児クラス

- "さすが年長さんでした。本当にまとまりがあって、友だちを励ます姿、支えてあげる姿、友だちと頑張る姿を見て感激しました。3年ぶりの制限なしで祖父母も大変喜んでおりました。
- 自分達で創り上げた劇あそびはみんなが生き生きして、自信に満ちた姿を見ることができました。ハプニングが起きた時も冷静に落ち着いていたり、周りのことをよく見ていたり、しっかりした表情や行動に成長を感じ、堂々とした子ども達の姿に感激です。

◆その他

- 年長さんの合奏の時下段の子ども達の顔が、後方の席からは見えにくかったので、工夫をしていただきたい。
- 次の学年のプログラムを待つ保護者の部屋が、2クラス分の保護者で一杯になるので、少し狭かったと思いました。
- カメラマンさん(今年度は4名)の動きで、我が子を取り難く業者さんの心配りがあって欲しかった。

令和6 1月の保育園だより

『新年明けましておめでとうございます』

～更なる磨き・コミュニケーション力～
昨年末はインフルエンザA型の感染拡大により、保護者の皆様には大変ご心配をおかけいたしました。温かな新年を迎え、少し感染の状況も落ち着きをみせているところです。

幼児クラスの子ども達は、12月は生活発表会、保育参観、餅つき会、お楽しみ会と保護者の皆様や地域の皆様との交流がたくさんありました。

生活発表会のアンケートの中に、『みんな一人ひとりのやりたいことがとても光っているステキな発表会となり、残りの保育園生活で更に磨きがかかるのかな?と卒園までのみんなの成長が楽しみです。』という年長児の保護者様の記載に目が留まりました。

生活発表会を生活やあそびの延長線上と捉えながら、子ども達はその気になり、自分達がそれぞれの主体を表現しながらも、折り合いを付けながら前に進む過程の中で、保護者の皆様が感じられているように、子ども達はキラキラ輝いて見えたことと思います。

『更に磨き』がとは、为什么呢。地域の皆様との交流の場面でも何気ない言葉が大人を感動させたり、人懐っこい子ども達は誰からも可愛がられます。

年少さんのやりたい放題はなりを潜め、お友だちとのトラブルを栄養にみんなの中の一人が意識付けられてきました。年中さんは、気の合う仲間を増やしながらも、自己主張をし合う心地よさも感じられるようになりました。年長さんは、競い合いながらも(例えば縄跳び)仲間を支えたり、励まし合う姿が見られ、言葉の表現を書き言葉(絵本作り)などで楽しむ姿も見られています。

『更に磨き』とは、このように一人ひとりのやりたいことを友だち同士、異年齢の交流の中で自分と折り合いをつけ、コミュニケーション力を駆使して、新たな

あそびの創造をする中で、自己肯定感を高めていくということではないでしょうか。

ある雑誌(和楽2024/2,3月号より一部抜粋)の対談で、世界70か国で茶道の本質を発信し続けている茶道裏千家(第15代・前家元)千玄室氏(100歳)と、建築を通して次世代のための日本文化を伝承し続けている建築家の安藤忠雄氏の記事が掲載されていました。

安藤氏は『学生たちは本を読んで地球儀を見て、どう生きるかということを考えて欲しい。』千氏は『互いに半歩下がるという気持ちを持てば衝突しませんし、戦争も起こりません。』この世界に色いろなことを発信し続けている方々のこの言葉は何を示唆して下さっているのでしょうか。

世界中で戦争が勃発し、温暖化による被害、地震や火山の爆発なども頻りに報道され、情報も頻りに入ってきます。世界のことを日本人として自分ごととして考える力がとても重要だと考えられます。

先月、本部からダンボール箱が各園に届きました。中を見ると大きな地球儀です。昨年の研修会で購入された品とのことでした。『しゃべる地球儀』年長さんあたりでは、どのような使い方、あそび方の発見をしていくのでしょうか。『更に磨き』をかけるため、違う考え方を友だちと一緒に共有したり、それぞれが多様性を発見しながら学び合う姿にも期待してみたいものです。

一方、今年度最後の乳児の保育参観も20日(土)開催されます。微妙福祉会では、0歳から2歳までの保育がその後の幼児の生活やあそびに大きく影響するということで、乳児の保育の大切さをグループ園でも研修し合っていますが、毎月の運動あそびの会(講師:阿部玲子先生)では、乳幼児のクラスの現状として、体幹を鍛えることの重要性も学んでいるところです。

「じっとしてられない!」「箸がもてない!」今回の親子触れ合いあそびでは、親子で楽しく体幹を鍛えるヒントもいただきますので、乳児期に大切にしたいことを学び合いましょう。(園長)

坂みみょう保育園

とんど祭り(1/12・金)

森浜地区の住民協の皆様のお力添えをいただき、菜園付近の畑で、とんど祭りを開催致します。

藁については品不足の中、西側住民協より昨年末頂き、とんど祭りも開催できることになりました。

昨年末の餅つきでもとんど用のお餅もつきましたので、子ども達とともに、とんど飾りを作ったりしながら、無病息災を祈り、地域伝来のとんど祭りを地域の皆様とともに楽しみたいと思います。(雨天の場合は1/15・月)

1/9(月)までに、家庭で使用された注連縄、破魔矢など持参されますと、とんど飾りに利用させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

乳児保育参観・親子触れ合い遊びの会(1/20・土)

今年度最後の保育参観と講師阿部玲子先生による、運動遊びの会を開催いたします。坂町生涯学習課との共催のため、未入園児の託児もあります。幼児クラスにきょうだいがおられる方は終了まで保育いたします。

時間:午前9時~11時(各クラスともに)

内容:0,1,2歳児により、保育参観と親子触れ合いあそびの会の時間帯が異なりますので、詳細については後日お知らせいたします。

幼児保育参観アンケートより(抜粋)12/16(土)開催

◆年少児クラス

朝の支度や、朝の会など、普段の子ども達の日常を垣間見ることができ、親子一緒にリース作りなど楽しむことができました。前回の参観より、自分でできることも増え、主体的に考える力もついているように感じました。

◆年中児クラス

クリスマスリース作りは、選ぶ時に自分のもの!!という気持ちが強く、お友だちと気持ちがぶつかってしまったかな?と思わず少し心配でしたが、本人たちはケロッとしていて、これからまた、様々な気持ちが分かってくるのかなと思いました。見守ること大切ですね。

◆年長児クラス

食材に触れ、お友だちと一緒にワイワイ作り上げることで、家では絶対食べないアップルパイを「おいしいー!」と言って食べていました。ピザ釜で焼いた少し焦げて香ばしいしっとりパイと給食室のオープンで焼いたサクサクカリカリパイのどちらも美味しかったです。クッキングは素敵な食育ですね。
発表会の『♪新世界』の合奏を親子で楽しみましたが、みんな自分の親だけでなく、お友だちのお父さんやお母さんにも教えてあげていたのが印象的でした。

◆坂小学校木村彰校長先生の講演会について

コミュニケーションの大切さ、子どもの気持ちの気付きを敏感に感じ、伝えることの大切さを学びました
校長先生の体験をお聞きすることで、子ども達と正面から向き合っているかを考え直すきっかけになりました。「日々の一瞬一瞬を大切に」コミュニケーションを重ねていきたいと思いました。
校長先生のお人柄が感じられました。入学に向けて親ができることを意識した、取り組みができればと思います。